



安全にお使いいただくために

この説明書の中では、事故防止上必要と思われる部分に、下記のような表示をして注

Start / Stopキー

測定機能(各種演算)を使って測定を開始するとき(または終わるとき)に押します。

前カバー

前カバーを開けると、時間重み特性(動特性)Fast / Slow と測定時間の設定についての操作手順が書いてあります(下図参照)。

ノート

保護フィルムについて

本製品の出荷時には、時間重み特性と測定時間の設定方法の操作手順を書いたステッカーシールに保護フィルムが貼り付けてあります。ご使用に際してはフィルムをはがしていただいても問題はありません。



ゴムカバー

Cal 調整器や DC Out



準 備

電源



防風スクリーンの使用

風のある屋外や換気装置などの騒音測定では、マイクロホンに風が当たって風雑音が発生し、測定誤差の原因になることがあります。

このような条件で測定する場合、防風スクリーンWS-10を取り付けることで風雑

測定

電源投入時は本器はA特性、Fast、測定時間10分(10m)で立ち上がります。

騒音レベルの測定 (L_A 、 L_C の測定)

1. Cal表示のないことを確認します。
2. A/C/Calキーを押して「A」または「C」を選択します。通常の騒音測定には

等価騒音レベル(

参考資料

暗騒音の影響

ある場所において特定の音を対象として考える場合、

周波数重み特性（周波数補正回路）

普通騒音計NL-26の周波数特性(周波数に対する重み付けの特性)はA及びCの周波数補正回路により実現されています。周波数補正回路の電気特性は下図のようになります。



